

# 身外・全力投球

明日から修学旅行、子ども読書の日  
平成20年(2008年)4月23日(水)

## 明日から修学旅行

3年生はいよいよ明日から修学旅行。これまでの学習と準備をふまえ、大いに学び、大いに楽しんできてほしいと思います。ただ、「石部中学校」という名を背負って行くことを忘れないようにね。3年生がどんなコースで旅行に出かけるのか、1・2年生のみなさんにも簡単に紹介しておきましょう。

### 第1日(24日・木)

JR石部駅集合(6:20)・出発.....京都駅.....(のぞみ1号).....博多駅.....(かもめ19号).....浦上駅着.....原爆資料館・原爆投下中心地見学(平和セレモニー)・碑めぐりによる平和学習.....ホテル到着(長崎全日空ホテルグラバーヒル)

### 第2日(25日・金)

ホテル出発.....長崎市内自主研修.....長崎出発.....阿蘇山到着(登山).....各宿泊ペンション分宿

### 第3日(26日・土)

各ペンション出発.....阿蘇周辺自然体験(下のスポーツ等を各自選択).....パラグライダー、ディスコグラフ、マウンテンバイク、カヌー、酪農体験  
クラフト体験、スポーツカイト、ウォーククライミング  
阿蘇出発.....JR博多駅.....(のぞみ40号).....京都駅.....(バス).....石部着

## 子ども読書の日

今日は「サン・ジョルディ」の日。スペインを発祥とする「本を贈る日」だと言われています。それにもちなんで、今日は「子ども読書の日」と定められています。朝の読書をはじめ、みなさんは1か月にどれくらいの本を読んでいますか? 湖南省の中学生の平均は2.7冊。みなさんの脳はさまざまな知識を吸収できる段階にありますから、いろんな本を読んで知識の世界を広げていきましょう。

今日は、1冊の本を紹介します。それは、左の「ちょこ旅 京都」。作者の「松島むう」さんは、その



プロフィールによると、看護師からイラストレーターになったかたで、旅や看護・保育系の雑誌を中心に活躍されているとか。この本は、松島さんが京都のあちこちを歩いて見つけた楽しいところ、おもしろいところを紹介したイラストガイドブックです。

なぜそんな本を紹介するの? という疑問をもつひともいるでしょうね。それは、松島さんがこの石部中学校の先輩だからです(本名は、ご本人の了解を得ていないのでふせておきますが)。中学生のころ、松島さんは「きんいろの木」という本を読んで読書感想文を書き、それが県の最優秀賞に輝いたこともあります。

今本を読むということがすぐに効果として表れてくることはなかなかありません。しかし、松島さんのように自分にとっての蓄えにすることができるのは確かです。いろんな本をまず開いてみましょう。それがあなたの人生を開くことになるかもしれませんから。(ちなみに、今日から5月12日まで「こどもの読書週間」です)



## 全国学力調査から

正式名は「全国学力・学習状況調査」、昨日3年生全員が取り組みました。どんな問題が出題されたかは、問題

そのものが今朝の新聞で報道されていますから、1・2年生のみなさんも見る事ができると思います。興味のあるひとはぜひ確かめてみてください(この調査はしばらくの間継続されるそうですから、みんな見ておいた方がいいかな?)。

教科は国語と数学の2教科。ただし、それぞれにA・Bの2種類があって、特にBの問題はこれまでの学校のテストにはあまりなかった形式で出題されているのが特徴です。例えば、国語Bを例にとると、「国語の授業で『気になる日本語』をテーマに、身近な言葉の中から疑問に感じたことや興味をもったことについて調べる学習に取り組み」、レポートを作成したという設定で、国語辞典の表記や世論調査のグラフが問題文中に取り上げられ、それらを読み込んで最後には自分(解答者)の考えを100字以内にまとめるという問題が出ています。

解答用紙を整理していると、空欄にしているひとの何と多いことか!びっくりしてしまいました。これは、その名のとおり「調査」ですから、成績に入ることはありません。先生からそのことを聞いた多くのひとが「それならいいや。無理しないでおこう」という気持ちになったのかもかもしれませんが、これからの学習で求められていくのは、「考える力」です。自分で疑問をもって、それに対して自分がどのようにアプローチしていくのかを考えること、いくつかの方法の中でいちばん効率のよい方法はどれかを考えること、最終的に自分の考えをどう表すかを考えることなどなど、「考える」という行為は改めて言われるまでもなく、さまざまところで必要とされる力です。ですから、避けずに挑戦してみましょう。できる、できないは、その次の話です。空欄では正解になるはずもありません(これは、中間テストや期末テストなどにも言えることです)。

採点をはじめとする処理については、文部科学省が一括して行うことになっていますので、時間がかかります(昨年は10月ごろ)。問題用紙はそのときまで学校で保管しておきますので、3年生のみなさんは、個票(自分のテスト結果)が返ってきたときに、もう一度取り組んでみてほしいと思います。

## 石中に応援団あり

紹介するのが遅くなってしまったため、もう盛りは過ぎてしまったでしょうが、各教室にフィルムケースに入

れた小さな花が飾られていると思います。これは、岡出のTさんがご自身で育て、ご自身でアレンジして届けてくださったものです。(Tさん、ありがとうございます!)

最近のニュースを見ていると、チューリップが無残に切り取られるなど、「どうしてこんなことを」と感じるような事件が起こっていますが、各教室の花は元気でしょうか? Tさんは「中学生のみなさんに喜んでいただけるのがうれしいので、毎月届けます」とおっしゃってくださっていました。花を咲かせるには多くの手間と時間が必要です。それを惜しげもなく私たちに提供してくださるお気持ちを大切にしたいと思います。(来月、花を届けてくださるTさんに、少しでもお礼の気持ちを伝えることができるといいですね)

花は心を落ち着かせてくれます。落ち着いた学校に似合う落ち着いた花。そんな学校づくりをめざしてみんなで「全力投球」をがんばっていきましょう。それがTさんへの何よりのお礼です。